

ワイシャツに関する調査

酒井清子

Studies on White Shirts

by

Kiyoko SAKAI

緒言

男子のワイシャツは、上着の形を整えるとか、調和を保つなどの、役目があり、また清潔を保つためにも、考慮をはらう必要がある。このように、男子服装上、重要な意味をもつ、ワイシャツが現在とどのように着用されているかについて、年代別、枚数、種類、形、材質、色彩、洗濯方法などに、ついて調査したので、その結果を報告する。

調査方法

A. 調査対象

本学家政科に在学する学生の父兄（年代10代～60代）242名。

B. 調査期間

昭和40年7月～昭和41年6月の1年間。

C. 調査項目

第1表のような、調査用紙を用いて、行なった。調査内容は、次に示す通りである。

1. 種類、枚数、形、色彩、柄、材質。
2. 洗濯の方法、回数、洗剤。
3. 購入時の注意、既製品、場所、金額、その他。

調査結果

ワイシャツの、年代別所持枚数の分類を示すと、第2表のようになる。これでもわかるように、50代が1人当りの枚数が、最も多く、これに次いで40代、30代、20代、10代、60代の順であった。

年代別に、職業を調査した結果、一番多いのから上げた。

10代：この年代は、ほとんど19才で、学生ばかりであった。

20代：学生50%、会社員40%、商業10%、公務員4%、教員4%であった。

30代：会社員50%、商業20%、教員20%、公務員10%、その他4%であった。

40代：会社員40%、商業40%、農林漁業20%、公務員10%、教員10%であった。

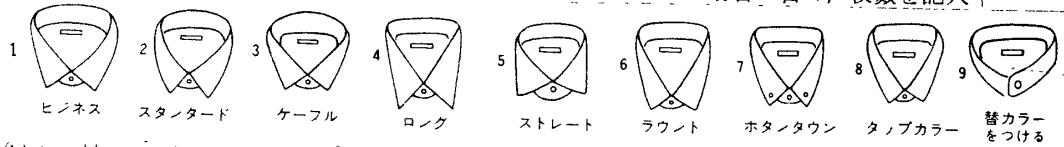
50代：会社員40%、商業30%、公務員10%、教員10%、農業4%であった。


60代：会社員40%、商業20%、農業20%、公務員10%、その他10%であった。

第3表は年代別に、1年間の新調枚数を示した。これによると、40代が一番多く、20代、30代がこれに次いで、60代、10代、50代の順に、少なくなっている。

学年 _____ コース _____ 番号 _____ 氏名 _____
 調査年 _____ 月 _____ 日 _____
 被験者住所 _____ 氏名 _____ 年齢 _____ 職業 _____
 調査内容 (質問事項に○×または質問に答えよ.)

1. 貴男はYシャツを何枚持っていますか _____ 枚
 2. 一年間何枚新調しますか _____ 枚
 3. 型はとんな型ですか _____
 (a) カラー 1番~9番の中いずれか _____ 2種以上の場合には各々、枚数を記入 _____



- (b) 袖 : 長袖 _____ 半袖 _____
 (c) 袖口 : ダブルカフス _____ シングルカフス _____
 半袖の場合  袖口がわれているか _____ われていない _____

4. 材質とはどんな材料ですか

(a)	春		夏		秋		冬	
	綿合	織ル	枚	枚	枚	枚	枚	枚
ウソ	の	他	枚	枚	枚	枚	枚	枚
(b)	レ	ス	枚	枚	枚	枚	枚	枚
白色	無	地	枚	枚	枚	枚	枚	枚
し	無	地	枚	枚	枚	枚	枚	枚
格	子	ま	枚	枚	枚	枚	枚	枚
そ	の	他	枚	枚	枚	枚	枚	枚
色は何色か			枚	枚	枚	枚	枚	枚

5. 製作は 自家製 _____ 既製品 _____
 6. 既製品、注文の場合どこで買うか _____ 百貨店名 _____ デパート名 _____
 7. 既製品、注文の場合どこに注意して買うか _____
 8. 洗濯は何日おきにするか _____
 9. 洗濯はどこでするか _____ クリーニング店 _____ 自宅 _____
 10. 自宅で洗濯する場合、次の質問のいずれか
 (a) 洗濯機 _____ 手でもみあらい _____ (c) 水道 _____ 井戸水 _____
 (b) 洗剤は何か _____ (d) 糊付するか _____ アイロンをかけるか _____
 11. 既製品、注文の場合どの位の金額か _____
 12. 一番いたむ所 _____ ほころびる所 _____
 13. 現在のYシャツでどの部分が窮屈ですか _____

第1表 調査用紙

年代	10	20	30	40	50	60
1人当たり平均枚数	8.3	10.5	12.4	12.5	15.9	7

第2表 年代別ワイシャツ所持枚数

年代	10	20	30	40	50	60
1人当たり平均枚数	3	3.2	3.2	3.6	2.9	3.1

第3表 年代別新調枚数

第4表は年代別に、ワインヤツの種類、所持枚数、1人当りの平均枚数を示した。これによると、10代では、2 スタンダードがもっとも多く、7 ボタンダウンがこれについて、1 ビジネス、5 ストレート、6 ラウンド、9 替カラーつきのものは、一枚も使用していない。20代では、10代と同様に、2 スタンダードが多く、9 替カラーつきは、もっとも少ない。30代では、3 ゲーブルが多く、4 ロング、5 ストレート、8 ダップカラーは、少くなっている。40代では、1 ビジネスが多く、5 ストレート、7 ボタンダウンは一枚も使用していない。50代では、40代と同様、1 ビジネスが多く、これについて、2 スタンダード、7 ボタンダウンは、40代同様一枚も使用していない。60代では、2 スタンダードが一番多く、6 ラウンド、7 ボタンダウン、8 ダップカラーは、1枚も使用していない。

種類	年代	10	20	30	40	50	60
1. ビジネス		0	1.3	0.4	1.7	0.9	0.4
2. スタンダード		2.6	2.0	0.8	0.7	0.7	0.9
3. ゲーブル		0.6	0.6	1.2	0.5	0.3	0.5
4. ロング		0.3	0.3	0.08	0.1	0.09	0.06
5. ストレート		0	0.4	0.08	0	0.05	0.3
6. ラウンド		0	0.1	0	0.1	0.01	0
7. ボタンダウン		1.3	0.7	0.2	0	0	0
8. ダップカラー		0.4	0.2	0.08	0.1	0.03	0
9. 替カラーつき		0	0.02	0.2	0.04	0.3	0.2

第4表 ワインヤツの種類(年代別) 1人当り平均枚数

第5表は袖の形態で、長袖は、袖口カフス付きで、カフスは、ダブルとシングルにした。半袖は、袖口が、われているものと、われていないものにした。(第1表参照)

年代別に、長袖と、半袖では、長袖を、各年代とも多く使用している。袖口のカフスは、各年代とも、ダブルよりも、シングルを多く使用している。半袖の袖口が、われている型は、10代~30代までは、袖口の、われている方が多いが、40代~60代では、われていない方が多い。60代では、われているものを使用しているものは、一人もいなかった。

種類	年代	10	20	30	40	50	60
長袖		4.4	5.5	7.6	6.6	5.8	2.9
半袖		3.9	2.7	3.3	3.3	3.2	1.9
ダブルカフス		1.1	2.1	2.2	1.7	1.2	0.4
シングルカフス		4.0	3.3	3.4	4.6	3.9	1.5
袖口がわれている		1.7	1.3	1.0	0.9	0.3	0
袖口がわれていない		0.7	1.3	0.9	1.4	1.5	0.9

第5表 形態(年代別) 1人当り平均枚数

第6表は四季別に、材質を示した。

年代別に、みると何れも、春、秋は、綿、合繊、それぞれ半数位の割合だが、夏、冬では、合繊のものを多く使用していた。その他の、材質は、ほとんど使用していないが、麻を使用したものが、わずかにみられた。

種類	春						夏						秋						冬					
	10	20	30	40	50	60	10	20	30	40	50	60	10	20	30	40	50	60	10	20	30	40	50	60
綿	0.9	1.3	2.4	1.7	1.9	1.7	1.4	0.7	1.2	1.3	0.9	1.1	0.9	0.8	0.6	0.8	0.5	0.9	1.1	0.9	1.3	1.1	0.9	1.1
合 繊	0.3	1.4	2.0	1.4	1.2	2.3	2.9	2.7	2.5	2.7	2.0	1.7	0.3	0.7	0.5	0.9	0.9	1.4	1.6	1.1	1.0	1.5	0.9	1.5
ウール	0.1	0.1	0.3	0.4	0.2	0.1	0	0.05	0.04	0.09	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.05	0.3	0.1	0.6	0.7	0.7	0.4	0.3
その他	0	0	0	0.2	0.3	0	0.3	0.05	0.4	0.4	0.1	0.5	0	0.02	0	0.01	0.03	0	0	0.06	0	0	0.03	0

第6表 材質と季節（年代別）1人当り平均枚数

第7表は、色彩、柄を示したものである。

年代別に、また四季別に見て、いずれも白無地の使用者が、最も多い。色の系統は、10代では、春、夏は、ブルー、秋冬は、グレー系統を好む。20代では、春は、ブルー、グレー、グリーン、茶、黄、夏は、ブルー、グレー、茶、黄、黒、秋は、ブルー、グレー、グリーン、茶、黒、赤、ベージュ、冬は、ブルー、グレー、茶、黒系統の順で、10代にくらべ、1色の色でなく、いろいろ、好まれていた。30代では、春、夏は、ブルー、グレー、ベージュ、秋、冬は、グレー、茶、グリーン系統が好まれていた。40代では、四季を通じて、グレー系統が一番多く、茶、エビ茶、グリーン、ブルー、黒の順に好まれている。50代では、四季を通じて、グレー、茶、グリーン、ブルーの順に好まれている。60代では、四季を通じて、グレー、茶系統を好まれていた。

種類	春						夏						秋						冬					
	10	20	30	40	50	60	10	20	30	40	50	60	10	20	30	40	50	60	10	20	30	40	50	60
レース	0	0.03	0	0	0	0	0.7	0.2	0.4	0.1	0.2	0	0	0.01	0	0.01	0	0	0.6	0	0	0	0	0
白無地	0.9	1.3	3.1	2.7	2.8	2.4	1.7	2.2	2.5	2.1	2.9	2.5	0.6	0.9	0.4	1.6	0.6	1.5	1.9	1.7	1.3	2.2	1.3	1.7
色無地	0.3	0.4	0.6	0.6	0.4	0.6	0.1	0.6	0.5	0.9	1.0	1.0	0.3	0.3	0.1	0.08	0.2	0.5	0.4	0.4	0.8	0.4	0.4	0.6
縞	0.6	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.4	0.5	0.3	0.2	0.09	0.3	0.3	0.09	0.04	0.04	0.03	0.2	0	0.2	0.1	0.09	0	0.1
格子	0.1	0.2	1	0.2	0.1	0.06	0.4	0.03	0.2	0.08	0.01	0.06	0	0.2	0	0.04	0	0.06	0	0.3	0.2	0.1	0.05	0.06
その他	0.1	0.03	0	0	0	0	0.1	0.08	0.04	0.08	0.09	0	0.1	0.03	0	0	0	0	0.04	0	0	0	0	0.1

第7表 色彩、柄と季節（年代別）1人当り平均枚数

方法	年代					
	10	20	30	40	50	60
既 製 品	4.3	2.3	2.5	1.1	1.7	1.5
注 文 (仕 立)	0	0.7	0.7	0.7	1.3	1.3
自 家 製 (仕 立)	0	0.03	0.04	0.04	0	0
そ の 他	0	0	0.1	0	0.01	0

第8表 仕立方法（年代別）1人当り平均枚数

第8表は、仕立方法を示した。この表によって既製品が、何れの年代にも、一番多く、50代、60代の年代層は、10代～40代に、くらべて庄文仕立が多くみられる。

第9表は、購入方法を示したものであるが、デパートの方が、洋品店或いは、専門店より多い。なお購入時の注意として、10代では、材質、色柄、形、寸法、金額の順に注意している。20代では、衿の形、寸法、形、材質、色柄、金額の順であった。30代では、衿の形、材質、寸法、形、色柄、金額の順であった。40代では、衿の形、材質、寸法、縫製、形、金額の順であった。50代、60代は、衿の形、寸法、材質、色柄、形、金額の順であった。

場所	年代	10	20	30	40	50	60
洋品店		0.4	0.4	0.3	0.6	0.2	0.3
デパート		0.6	0.8	0.7	0.8	0.1	0.9

第9表 購入方法（年代別）1人当り平均枚数

洗濯回数は、第10表のように、何れの年代も、春、秋は、2～3日おき、夏は、毎日、冬は3～4日おきである。

四季	年代	10	20	30	40	50	60
春		3	2	3	2	3	2
夏		2	1	1	1	1	1
秋		3	2～3	3	2	3	2
冬		4	3	3	3	3	3

第10表 洗濯回数

洗濯方法について第11表に示す。

(1) 場所

場所	年代	10	20	30	40	50	60
クリーニング店		0.6	0.8	0.8	0.7	0.8	0.9
自家		0.4	0.4	0.6	0.8	0.7	0.4

(2) 方法

方法	年代	10	20	30	40	50	60
洗濯機		0.9	0.4	0.4	0.6	0.4	0.3
手洗い		0.3	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3
糊付をする		0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.1
アイロンをする		0.1	0.4	0.4	0.5	0.7	0.3
水道		0.9	0.5	0.5	0.6	0.5	0.2
井戸水		0.1	0.1	0.1	0.2	0.5	0.1

第11表 洗濯方法

(1) 場所は、クリーニング店（専門店）が、10代、20代、30代、50代、60代は多いが、40代のみ、やや自宅で行うものが多い。

(2) 方法は、自宅で行なう時の場合の、方法で、洗濯機であるものが多い。中には一部分、手で洗って洗濯機にかけるものもあった。洗剤は、中性洗剤を使用していた。その他は、第11表(2)の通りである。

購入金額は、10代では 1,200円～1,300円

20代では 1,500円

30代では 1,500円～2,000円

40代では 1,000円～1,500円

50代では 1,500円～3,000円

60代では 1,000円～1,500円

以上の金額のものを、使用していた。

(1) 1番いたむ所、(2) ほころびる所、(3) 窮屈な所を調査して見ると、

10代：(1) 衿ぐり、袖口カフス

(2) 脇の下、ボタンホール

(3) 衿ぐり、胸廻り

20代：(1) 衿ぐり、袖口カフス、袖付、背中

(2) 脇の下、袖付、ボタンつけ

(3) 衿ぐり、袖付、肩巾、胸巾

30代：(1) 衿ぐり、袖口カフス

(2) 袖付、脇の下、衿先

(3) 衿ぐり、肩巾

40代：(1) 衿ぐり、袖口カフス

(2) 袖付、脇の下

(3) 衿ぐり

50代：(1) 衿ぐり、袖口カフス

(2) 袖付、脇の下

(3) 衿ぐり

60代：(1) 衿ぐり、袖口カフス

(2) 袖付、脇の下

(3) 衿ぐり、肩巾

以上のような結果であった。

結 論

以上の結果から、判断すると、ワイシャツの種類は、まだ一般的に、多くの種類があり、流行によって、いく分変化していると思われるが、ここでは、9点について調査をした。（第1表参照）

(1) 型態については、10代、20代では、2 スタンダードが多く、若い人に好まれている。30代は、3 ゲートルが多く見られたが、2 スタンダードは、これに次いで使用していた。40代、50代では、1 ビジネスが好まれ、60代になると、又若い人の好む、2 スタンダード

が好まれているようであった。7 ボタンダウンは、形から見て、若い人向きのためか、40以上の年代には、見あたらなかった。

(2) 色彩は各年代とも、白を好み、それ以外の色では、若い年代は、ブルー、グレー系統を好み、壮年、老年は、グレー、茶系統を好むようであった。

(3) 材質は、合繊を好むようであった。

(4) 洗濯の回数は、年代とも、ほぼ同様に、春、秋、冬は、3日毎が多く、夏の場合のみ1日毎であった。

なお、クリーニング店（専門店）でするものが、各年代ともに、自宅より多い。

(5) 各年代ともに、一番いたむ所は、衿ぐり、袖口カフス、ほころびる箇所は、脇の下、袖付、窮屈な所は、衿ぐりであった。

(6) 仕立の点では、既製品が、多く見られる。これは、利用度の多いワイシャツは、自宅よりデザインも変化があり、縫製の点など市販されている方が良い。なおワイシャツ専門仕立の店などもあり、良い製品で出来ていると考えられるが、既製品については、運動性の点から、窮屈な点を、訴えたものがあるので、その点に、なお注意が、はらわれると望ましいと思われた。

最後に、この報告をするに当り、ご指導下さった、名古屋市立大学助教授青山光子博士に対し、深くお礼申し上げますと、ともにこの調査に協力して下さい、本学家政科学生の父兄に対し、感謝の意を表す。

参 考 文 献

中司光：(1960) 被服衛生概説。光生館。